

事業所名

多機能型事業所すまいるはーと（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

7

年

3

月

11 日

法人（事業所）理念		地域に愛され、必要とされる事業所を目指し、将来を見据え、自立に向けた療育に心がけ、心から笑える日々を一緒に過ごしていく										
支援方針		活動時間の切り替えを学び、就学に向け、個々の特性を理解し対応しながら、成長できるように支援していきます。										
営業時間		午前	8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容												
本人支援	健康・生活	児童発達支援の時間を楽しく安心して過ごせる場所として、個々の特性を理解し、構造化が必要な場合は環境の設定をしていきます。自分の荷物は自分で持ち、動線で流れて行動ができるよう支援し、個々の特性によって、「絵カード」「文字」で見通しがわかるようにスケジュールをホワイトボードで伝えます。基本的な生活スキルを促進するため、創作活動で、ハサミ・のりなどの道具の使い方を学び、「できた」に繋げていきます。畑で取れた新鮮な野菜を食べることで、「美味しい」に繋げていけるよう支援します。										
	運動・感覚	保有する感覚を活かすため、様々な遊びや公園での活動で、体の使い方や力加減などを学び楽しく体を動かせるよう支援していきます。又、感覚鈍麻や過敏なお子様もいる中で、個々の特性を理解した対応を行っています。又、散歩をすることで筋力の維持に努めていきます。										
	認知・行動	個々のこだわりに対して理解をし、対応することで落ち着いて過ごせるよう支援します。支援の中で理解を進めるため「絵カード」を使用したり、遊び等の活動を通して、物や数等の認知ができるように支援します。個々によってレベルの違いがある為、レベルにあったプリントで理解を深めていきます。「時間」については、理解が不十分な為、時間を意識できるようにタイムタイマーやタイマー等をしょうし、音で理解することで次への切り替えができるように支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	個々によってレベルの違いがある中で、言葉が出始めの児童に対しては、お話をしっかり聞いてあげることで満足に繋がりを、言葉数を増やしていけるように支援します。又発音が不明瞭な児童の場合は、できる範囲で言葉のトレーニングをし、発音が少しでも相手に聞き取りやすくなるように支援します。興味関心の強い所からコミュニケーションを広げ、意思のやり取りが行えるように基礎的な能力を身につけていけるよう支援します。読み書きについては、簡単な文字から進め、自分の名前が書けるように支援します。										
	人間関係 社会性	遊びの中で、「ルールを守る」「貸し借りができる」「仲間と協力をする」「順番を守る」「負けても仕方ない」など小集団での学びを通して、ライフステージが変わってから困らないように支援をしていきます。										
家族支援		こども園や自宅での様子の情報共有しながら、家族の困りごとや不安なことがあった際はいつでも相談できるよう対応に努めていきます。						移行支援		こども園等を併用している児童に対しては、併用利用先との連携を図り、情報共有に努めます。又、地域の児童館等への利用をすることで地域の異年齢の子供達との関わりを大事にしています。		
地域支援・地域連携		自立支援協議会への参加や各関係機関とのケース検討会等必要に応じ、連携を図っていきます。						職員の質の向上		採用時研修（採用時2か月以内）・職員研修（オンライン含む）外部研修（随時）		
主な行事等		各季節のイベント・合同イベント（年1回）・水遊び（夏の期間）										